

ファクス脆弱性“Faxploit”に対する CIAJ からのご案内

2018.9.10 (一社) 情報通信ネットワーク産業協会

複数のニュースサイトにおいて、ファクシミリ脆弱性“Faxploit”の記事が掲載されており、中には全てのファクシミリや複合機に、この脆弱性がある様な誤解を生む内容になっています。

今回の脆弱性は、カラーFAX 通信における JPEG データ処理の実装方法による脆弱性（脆弱性識別番号：CVE-2018-5924, CVE-2018-5925）であり、ある一部の海外製品の固有の実装方法によるもので、全てのカラーFAX 対応ファクシミリ/複合機が対象となるわけではありません。*

また通常（モノクロ）FAX については、本脆弱性の対象ではありません。

お使いのファクシミリ、複合機が対象でないことを確認して頂き、引き続き安心してご利用頂けます様に、お願い申し上げます。

（担当：画像情報ファクシミリ委員会）

* 本協会画像情報ファクシミリ委員会所属の各社のファクシミリ/複合機は、本脆弱性の影響を受けないことを確認しました。

参加企業

2018年4月現在 12社(50音順)

- [NECプラットフォームズ株式会社](#)
- [株式会社 沖データ](#)
- [キヤノン株式会社](#)
- [京セラドキュメントソリューションズ株式会社](#)
- [コニカミノルタ株式会社](#)
- [セイコーエプソン株式会社](#)
- [東芝テック株式会社](#)
- [パナソニック株式会社](#)
- [富士ゼロックス株式会社](#)
- [ブラザー工業株式会社](#)
- [村田機械株式会社](#)
- [株式会社リコー](#)